



資料1

十勝川水系自然再生検討会について

十勝川水系自然再生検討会（第1回） 令和5年3月22日

1. 十勝川水系自然再生計画について

十勝川水系河川整備基本方針(令和4年9月変更済)

- 長期的な視点に立った河川整備の基本的な方針
- 整備の考え方を記述

■河川環境の整備と保全(抜粋)

- ・生態系ネットワークの形成
- ・良好な河川環境の再生・創出
- ・地域経済の活性化や賑わいの創出

十勝川水系河川整備計画(令和5年変更予定)

①平成28年8月洪水

- ・現行整備計画目標流量を上回る洪水が発生

②気候変動の影響

- ・将来の気候変動に伴う降雨量の増大

③流域治水を踏まえた治水対策

- ・ハード対策のみならず、ソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換

④生態系ネットワークの形成

- ・川の中を主とした「多自然かわづくり」から流域の河川を基軸とした「生態系ネットワーク」の形成へと視点を拡大
- ・自然環境の保全や創出を図るほか、霞堤の保全による背後地との連続性の確保、かわまちづくり等と連携した地域経済の活性化や賑わいを創出し、あらゆる関係者と連携し、生態系ネットワークの形成を図る。

⑤グリーンインフラに関する取組を推進

- ・良好な流域、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力がある地域づくりを進める。

十勝川水系自然再生計画

- 生物の生息・生育・繁殖環境の変化を把握し、自然再生の必要性、目指す姿、取組内容について検討する。
- 自然と共生する社会の実現に向けた取組内容について検討する。



- ✓ 多様な生息環境の保全・創出、自然環境との共生、地域活性化などを図る。
- ✓ 掘削形状の工夫、霞堤の活用等により、生息・生育・繁殖の場を保全・創出し、生態系ネットワークの形成を図る。

○ 今後の大規模な河道掘削に伴い生物のすみかに影響するおそれがあるため、生物多様性を高め自然と共生する社会を目指し、生態系ネットワークの形成に向けた十勝川流域のあらたな自然再生の検討を行う。

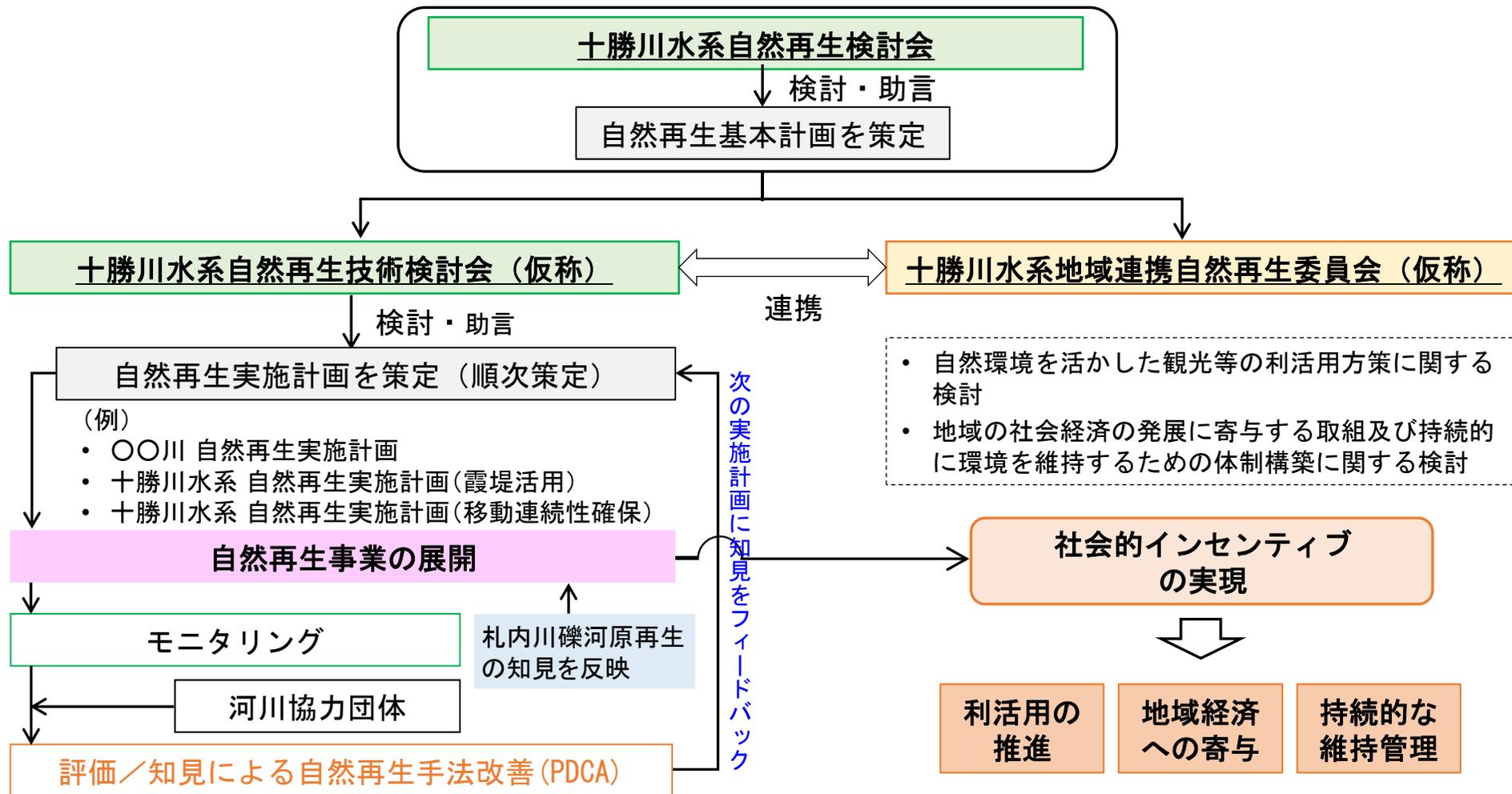


- 生態系ネットワークの構築
 - 生物多様性の向上
 - 地域連携による川づくり
 - 河川の利活用促進
 - エコツーリズム促進
 - 環境に対する企業活動の促進
- ⇒ 地域活性化・経済発展に寄与

生態系ネットワークのイメージ

3. 十勝川水系自然再生に関わる検討会・委員会の位置づけ

- 十勝川水系自然再生検討会は、十勝川水系の生物の生息・生育・繁殖環境の変化を把握し、自然再生の必要性、目指す姿、取組内容などを定める「自然再生基本計画」の策定に向け検討・助言を行う。
- 十勝川水系自然再生技術検討会は、具体的な取組内容を定める「自然再生実施計画」の策定に向け技術的な検討・助言を行う。
- 十勝川水系地域連携自然再生委員会は、自然再生事業に関連し、利活用方策、自然環境や河川環境を活用した地域経済への貢献のあり方や地域活性化に向けた具体的な取組に関する検討を行う。



※必要に応じて十勝川流域治水協議会への情報提供を図る

十勝川水系 自然再生検討会

第1回（令和5年3月22日 本日）

- 十勝川流域の現状、変遷、課題
- 自然再生の目指す姿

第2回（令和5年5月頃）

- インパクトレスポンス
- 地域連携の全国事例紹介

第3回

- 現地視察（視察先未定）

第4回

- 十勝川水系自然再生基本計画

十勝川水系 自然再生技術検討会（仮称）

令和5年夏期以降、自然再生基本計画を踏まえた検討を実施する予定

第1回

- 実施予定箇所の現地視察
- 事業箇所の現状、変遷、課題

第2回

- 事業箇所の自然再生の目標

第3回

- 具体的な実施内容

第4回

- 事業箇所毎の自然再生実施計画

十勝川水系 地域連携自然再生委員会（仮称）

第1回

- 自然環境の利活用方策
- 社会経済の発展に寄与する取組
- 持続的な環境維持の体制構築

第2回

- 自然環境の利活用方策
- 社会経済の発展に寄与する取組
- 持続的な環境維持の体制構築